



こんにちは♪

日本共産党市議会議員
小野寺ゆきえです!



民主苦小牧号外
2026年
5/3.10合併号
No.1139

5月3日正午、勤医協交差点で平和の声を!!

みなさんにお知らせです。5月3日の憲法記念日に、私たちは“平和憲法を守ろうスタンディング”をおこなうことにしました。お昼の12時から、見山町の勤医協病院へ行くバイパスの交差点でおこないます。多くのみなさんに集まっただけだと嬉しいです。

イラン攻撃から約2ヶ月。トランプ大統領は「停戦」をちらつかせるも、乱暴な言動を続ける好き勝手状態。まかり通ると思っているのでしょうか。たくさん命を奪っていながら、罪の意識を全く感じていないトランプ大統領に、私は強い怒りを覚えます。

さらに許せないのは、トランプ大統領の要請に応え自衛隊を派遣したい高市首相の姿勢。憲法まで変えようとしています。「もう我慢できない」と、アメリカでも日本でも「イラン攻撃やめろ」「トランプやめろ」「高市やめろ」「憲法守れ」の声が湧き起っています。希望です。

苦小牧でも4月25日に市役所前で『イラン攻撃やめよ!!平和憲法まもれ!!』が開催され、約170名が参加しました。ネット情報で知ったという若者もいました。共産党の紙智子前参議院議員や中道の山岡達丸衆議院議員も参加。市民団体の呼びかけに超党派で応えました。

全国の活動に呼応し、「憲法記念日こそ憲法守れの声をあげよう」と、後援会員の提案で企画したのが、3日のスタンディングです。しかし、デモや集会などの活動に対し、「ごっこ遊びにしか見えない。本気で政治を変えるんだったら今すぐ政党を作って政治に打って出ればいい」と発言した自民党議員がいます。門寛子氏です。

この記事が紹介されたのは26日の毎日新聞『松尾貴史のちょっと違和感』というコーナーです。松尾氏は「政権の横暴を民衆がデモによってはねのけてきた歴史は世界中にある」と指摘し、「国会議員がこれほど低劣な暴言を吐くようなことが、どんな偶然が重なれば起きるのか理解に苦しむ。議会以外に民主主義が存在しないとでも思っているのだろうか」と強烈に批判しています。

みなさん、集会やデモなどの行動は、素晴らしい民主主義を守る活動です。高市政権が数の力で強権政治を進める今こそ、何にも代えがたい大事な活動です。みなさん、3日の12時、勤医協交差点から「憲法守れ」「平和を守れ」の大きな声をとどろかせましょう!!